

救急だより

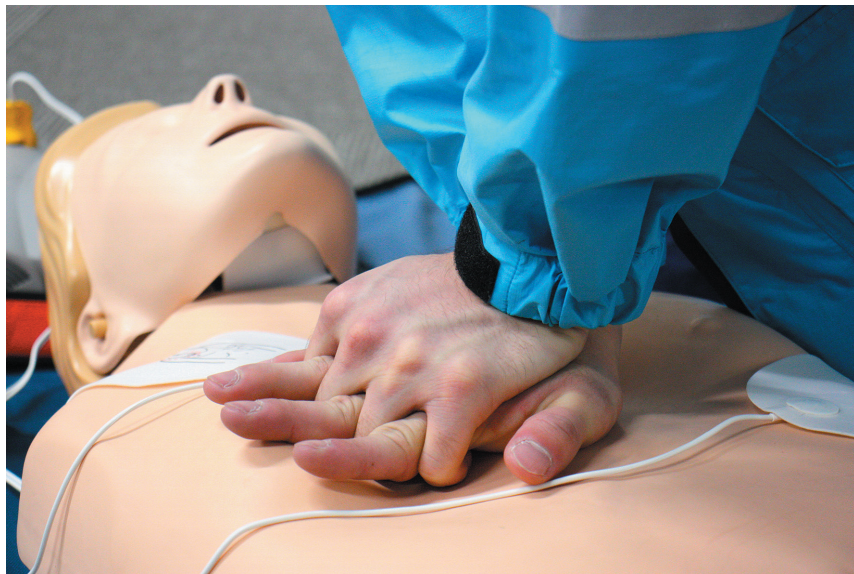
ピーポー



編集・発行／さつま町消防本部

〒895-1816 さつま町時吉366 Tel 52-0119 Fax 53-0119
E-mail shobo@satsuma-net.jp 発行 令和5年9月

「あなた」の手は
止まった血液を循環させる
第2の心臓の役割



さつまタイガー
&
救急救命士に
聞く！

心肺蘇生法に関するQ&A



広報担当
さつまタイガー

Q 心臓が止まってしまうと
どうなるの？

10秒あまりで意識がなくなってしまう、3～4分以上そのままの状態が続くと脳の回復が困難になるといわれているんだ。一刻も早い応急手当が必要なんだガオ！

Q 心肺蘇生法で重要なことは？

心臓は血液を体全体に循環させるポンプの役割があり、止まってしまった心臓の役割を補うためには「絶え間なく」胸骨圧迫を続けることが、とても大切なのです。



救急隊長
上之原 救命士

Q さつま町内において救急車の
平均到着時間は？

約10分です。地域によっては到着までにもっと時間がかかってしまうところもありますので、その場に居合わせた「あなた」が救急隊到着まで心肺蘇生を行うことがとても重要になります。



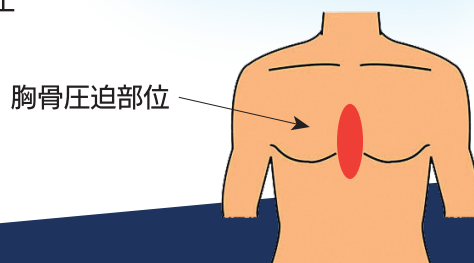
通信指令員
村田 救命士

Q 心肺蘇生法を行うときの
ポイントは？

- ・胸の真ん中（胸骨の下半分）を圧迫
- ・強く（胸が約5cm沈み込むまで）
- ・速く（1分間に100～120回のテンポ）絶え間なく押し続けてください



救急隊員
下築 救命士



大切な命を繋ぐために重要な **2** つのこと

その1 積極的な119番通報

話し方がおかしい、意識がないなど「普段どおり」でないと判断した場合、すぐに119番通報を行ってください。1秒でも早い判断が目の前にいる人の命を繋ぎます。町内においても様子を見ていたなどの理由で通報が遅れ、その結果、重症になってしまった事例も発生しています。

その2 普通救命講習の受講

救急隊が到着するまで、心肺蘇生法を行わなければ命は繋がりません。消防署では、普通救命講習を1人からでも行っています。また「いつでも、どこでも」開催可能です。一人ひとりの応急手当への理解と協力が大切な命を繋ぐカギとなります。



INTERVIEW インタビュー



さつま町消防署長
木場 消防司令

近年、健康志向などの観点から屋外での活動、特にランニングやウォーキングをする方が増えている中で、途中で体調を崩して座り込んだり、倒れたりしてしまうケースも見受けられます。万が一、路上や公園等で倒れている方や具合が悪そうな方を見かけたら、勇気を出して声をかけてください。

意識がない状態や苦しそうな様子であれば、まよわずに救急車を要請してください。あなたの勇気ある行動によって、命を繋ぎ止めることができるかもしれません。救急車が到着するまでの間に適切な応急手当を行うことで、救命率の向上が期待できます。また、万一の際に備えて、普通救命講習を受講し、心肺蘇生法や AED の使い方を学んでみることをお勧めします。町民の皆様に応急手当の重要性を理解していただき、命を守るための行動を広めていきたいと考えています。皆様のご協力が、より安全な社会の実現に繋がることを祈っています。

心肺蘇生法を行う判断

それは「普段どおりの呼吸」をしているか

1秒でも早く胸骨圧迫を始めて
体内の血液を循環させる必要があります

「あなた」の手は 血液を循環させる第2の心臓

命を救うその1秒

心臓を動かすことができるのは
その場にいる「あなた」しかいません

いざというとき

「あなた」は

行動することが

できますか